

3 号機原子炉建屋における水漏れについて

3 号機は定期検査中ですが、5 月 7 日午後 1 時 45 分頃、原子炉建屋地下 1 階の残留熱除去系*（以下「当該系統」）B 系のポンプ室内において、当該系統 B 系のポンプ（D）出口弁の開放部に設置した養生用ビニール袋から水漏れが発生しているとの連絡を、協力企業作業員より受けました。

ただちに当社運転員が現場状況を確認後、当該系統 B 系の上流側に設置された弁（熱交換器の出入口弁など）を閉止したことにより、漏えいは停止しました。

調査の結果、当該系統は 4 月下旬に B 系と A 系との連絡弁を閉止して B 系の水抜きを行い、ポンプ（D）出口弁は 5 月 2 日に開放部から水の流出がないことを確認後、分解点検を実施しておりました。その後、当該系統 A 系の流量計点検のため、5 月 7 日午前 9 時 45 分に A 系のポンプを停止したことにより、連絡弁の弁体にかかる A 系側からの圧力が小さくなり、シート部の止水機能が低下して B 系統に水が流れ込み、分解点検中のポンプ（D）出口弁の養生部から漏えいしたものと推定いたしました。

本事象の対応として、当該系統を連絡弁にて隔離し弁点検を実施する場合は、連絡弁に他の弁を加え、二重に仕切ることといたします。なお、二重に仕切れない場合は、弁開放部からの水を排水口等まで導くなどの処置を行います。また、本事象について関係者に周知徹底いたします。

漏えいした水の量は約 45 リットル、放射エネルギーは約 1.5×10^6 ベクレルで、すべて堰内にとどまっており、拭き取りによる清掃を実施しております。

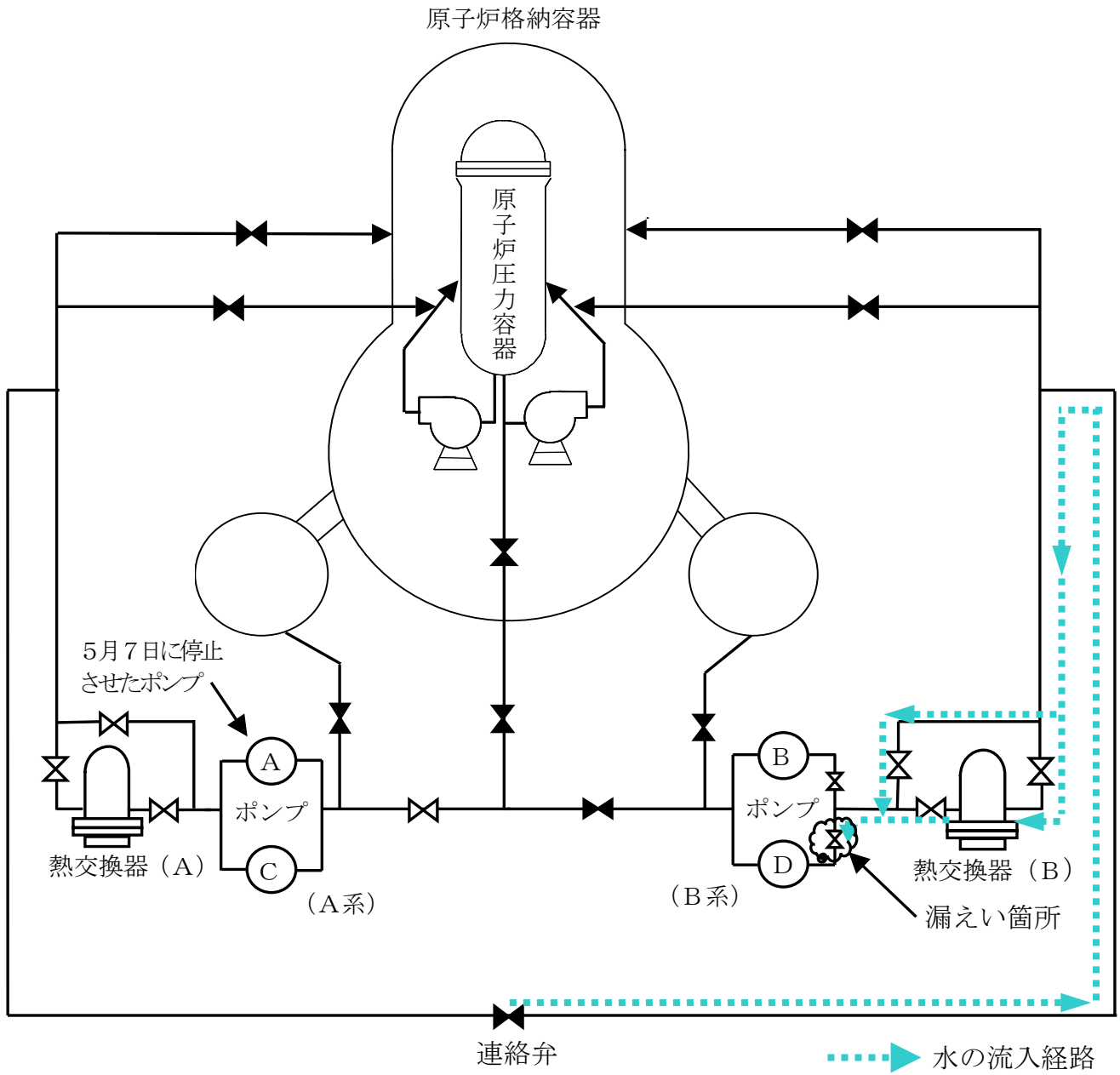
これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

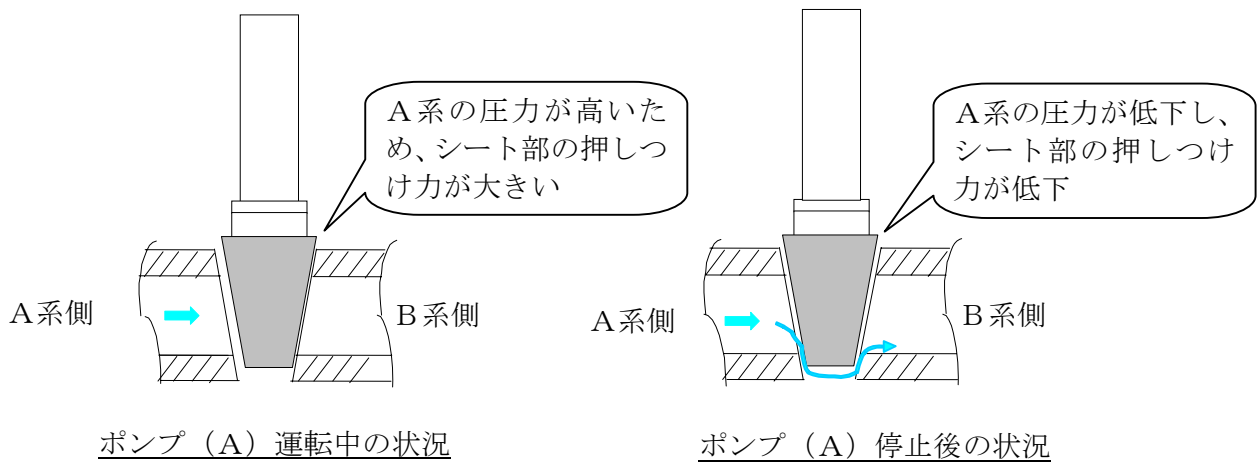
* 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却（燃料の崩壊熱の除去）や非常時に原子炉水を維持する系統で、2 系統（A 系、B 系）ある。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休日に発生した不適合事象を翌営業日に公表しているものです。



3号機残留熱除去系 系統概略図



連絡弁の止水機能